

◆第3章

- 足立研幾（2002）「地球化と世界志向利益団体」辻中豊編『現代日本の市民社会・利益団体』木鐸社：191-209。
- 石田雄（1960）「わが国における圧力団体発生の歴史的条件とその特質」日本政治学会編『年報政治学 1960——日本の圧力団体』岩波書店，11：30-45。
- 伊藤光利（1988）「大企業労使連合の形成」『レヴァイアサン』2：53-70。
- 猪口孝（1983）『現代日本政治経済の構図』東洋経済新報社。
- 後房雄・坂本治也（2019a）「日本の市民社会の実態分析」後房雄・坂本治也編『現代日本の市民社会——サードセクター調査による実証分析——』法律文化社。
- 後房雄・坂本治也（2019b）「サードセクター組織の政治・行政との関係性」後房雄・坂本治也編『現代日本の市民社会——サードセクター調査による実証分析——』法律文化社。
- 辻中豊編（2002）『現代日本の市民社会・利益団体』木鐸社。
- 辻中豊・崔宰栄（2002）「歴史的形成」辻中豊編『現代日本の市民社会・利益団体』木鐸社：255-286。
- 辻中豊・崔宰栄・久保慶明（2010）「日本の団体分布とリソース——国際比較と国内地域間比較から」辻中豊・森裕城編『現代社会集団の政治機能——利益団体と市民社会』木鐸社：65-89。
- 辻中豊・山本英弘・久保慶明（2010）「日本における団体の形成と存立」辻中豊・森裕城編『現代社会集団の政治機能——利益団体と市民社会』木鐸社：33-64。
- 内閣府 n.d. [1]「NPO ホームページ 認証・認定数の推移」<https://www.npo-homepage.go.jp/about/toukei-info/ninshou-seni>、2022年9月13日アクセス。
- 内閣府 n.d. [2]「令和2年度 特定非営利活動法人に関する実態調査」、<https://www.npo-homepage.go.jp/toukei/npojittai-chousa/2020npojittai-chousa>、2022年9月13日アクセス。
- 村松岐夫・伊藤光利・辻中豊（1986）『戦後日本の圧力団体』東洋経済新報社。
- 森裕城（2002）「団体——政党関係」辻中豊編『現代日本の市民社会・利益団体』木鐸社。
- 森裕城・久保慶明（2014）「データからみた利益団体の民意表出」『年報政治学』65巻1号、200-224頁。
- Kitschelt, H. P. (1986) "Political Opportunity Structures and Political Protest: Anti-Nuclear Movements in Four Democracies," *British Journal of Political Science*, 16(1): 57-85.
- Kume, Ikuo. (1998) *Disparaged Success: Labor Politics in Postwar Japan*, Cornell University Press.
- Lowi, T. J. (1969) *The End of Liberalism*, W. W. Norton and Company, Inc.
- Olson, M. (1971) *The Logic of Collective Action: Public Goods and the Theory of Groups*, Second printing with new preface and appendix, Harvard University Press. (依田博・森脇俊雅訳『集合行為論——公共財と集団理論』ミネルヴァ書房，1983年)

上神貴佳 三浦まり編『日本政治の第一歩〔新版〕』（有斐閣，2023年）引用・参考文献
ISBN：978-4-641-15112-3

Pekkanen, R. (2006) *Japan's Dual Civil Society: Members without Advocates*, Stanford University Press. (佐々田博教訳『日本における市民社会の二重構造——政策提言なきメンバー達』木鐸社，2008年)

Putnam, R. D., R. Leonardi, and R. Y. Nanetti. (1994) *Making Democracy Work: Civic Traditions in Modern Italy*, Princeton University Press. (河田潤一訳『哲学する民主主義——伝統と改革の市民的構造』NTT出版，2001年)